一級建築士試験制度の見直しの方向性（素案）

本素案は、中央建築士審査会及び同審査会に設置された一級建築士試験制度の見直しに関する小委員会において検討中の一級建築士試験制度の見直しの方向性の素案である。今後、同審査会及び同小委員会の議論を経て、具体的な見直し案を提示する予定である。

令和８年10月19日

一級建築士試験の見直しに当たっての課題認識

国土交通省

＜見直しの背景＞

①人材確保・育成
・建築士の高齢化、地方における人材不足
・建築設計実務の変化
②ストック社会
・建築ストックが充足し、維持・修繕・流通に係るニーズが増加。
③デジタル化
・DXの進展による建築生産・行政の生産性向上（CAD、BIMの普及等）
・AI等の急速な進展
④建築士法改正
・受験機会の拡大（在学中試験）

＜現行の建築士試験制度、建築士制度の課題等＞

○　建築士の持続的確保の必要性
○　学科試験における新規・応用問題、設計製図試験への対応にかかる受験者の負担への配慮
○　建築士法改正による在学中受験が可能となることによる大学教育への影響や受験者の負担への配慮
○　ストック活用やデジタル化など一級建築士に求められる資質・能力の変化への対応の必要性
○　建築士の知識・能力の継続的な確保・向上の必要性
○　専門分化の進展と高度化への対応の必要性

一級建築士試験の見直しの方向性について（素案）

国土交通省

基本的な考え方

一級建築士試験について以下の方針に基づき**見直しの検討を行い、可能なものは令和11年度試験(一部令和9年度試験）から実施する。**

○　一級建築士として求められる「**建築に関する基本的かつ総合的な知識･能力**」を評価する**方針は継続**する。

○　社会情勢の変化を踏まえつつ、この方針に基づく評価がより的確に実現できるよう、**一級建築士として習得すべき建築設計･工事監理に関する知識･能力**に対して、**試験内容をより本質的･基本的なものに重点化**するよう見直す。

○　**受験者の負担の軽減**及び**受験プロセスの多様化**を通した**受験機会の拡大**のため、**学科試験の合格科目試験免除制度の導入**など**試験制度の見直しを検討**する。

○　**ストック活用の本格化**、**デジタル化の進展**に対応した試験内容への反映については、社会資本整備審議会建築分科会で現在行われている議論を踏まえ、**継続的に検討**する。

※　他制度や諸外国で導入されているCBT注1やIRT注2については、令和11年度の見直し後の状況も踏まえながら、将来的な導入の可能性について検討する。

注1　Computer Based Testing：パソコンなどコンピューターによる試験方式
注2　Item Response Theory（項目反応理論）：IRTとは，各受験者の試験問題に対する正答･誤答に基づいて，試験問題の特性と受験者の能力を分けて推定する統計理論の一つ

一級建築士試験の見直しの方向性について（素案）

国土交通省

学科試験

○　受験者の負担を考慮しつつ、一級建築士として特に習得しているべき**本質的・基本的事項の理解を重視した評価**へ見直す。

○　建築士法改正により在学中受験が可能となることを踏まえ、受験者の負担軽減や建築教育への影響・連携を考慮し、**合格科目試験免除制度の導入について検討**する。

○　令和11年度の見直し後の状況も踏まえ、**更なる試験実施方法の見直しを検討**する。

設計製図試験

○　一級建築士として備えるべき知識及び技能等を設計図書の作成を通じて判定するための**適切な試験となるよう検討する**。

○　具体的には、**設計製図試験について、**現行制度の課題を検証した上で**必要な見直し**を行う。

①　**失格・減点事項をあらかじめ開示**し透明化を図る。

②　事前に特別な対策が必要となる**特殊な用途や設計条件による出題はしない**

③　**図面の記載事項を必要なものに限る**

④　建築として成立するか否かに関わる**基本的な設計内容や建築法規に関する内容を主に出題**する

○　受験者の実情に応じた受験を可能とするため、**学科試験免除期間のあり方を検討する**。

○　さらに、令和11年度の見直し以降の以下の中長期的な見直しの方向性についても検討を行う。

①　資格制度のあり方に関する議論（次頁）も踏まえ、**現行の一の建築の設計図書を作図させる試験方法を継続するか**、設計図書の妥当性・問題点を把握する能力を評価する試験など**新たな試験方法を導入するか**など**中長期的な試験のあり方を検討**する。

②　**ＣＡＤやＢＩＭによる試験**は、上記の検討による見直し後の試験においても、**合理的な試験方法となるか否かを検証した上で検討**する。